

安全安心インフラ整備へ一丸 建コン九州や福岡県測協ら5団体



（二社）建設コンサルタント協会九州支部（稲山泰治支部長）、（一社）福岡県測量設計コンサルタント協会（福澤一博会長）、（一社）福岡県地質調査業協会（香月裕宣理事

市のANAクラウンプラザホテル福岡で令和8年新年賀詞交歓会「写真」を開催した。九州地方整備局や福岡県、福岡市をはじめとする官公庁からの来賓および会員企業の関係者ら約330人が出席、新春のあいさつを交わすとともに、今年一年が各業界の発展向上の年となることを祈念した。

冒頭、主催者を代表して県測協の福澤会長が「今年6日に山陰地方で発生した最大震度5強の地震等を踏まえ、「日本においては地震がいつ、どこで発生してもおかしくない状況。国民の安全安心を守り、地域の経済の発展に資するインフラ整備に寄与できるよう、われわれ建設業界も一丸となって進んでいきたい」等とした。

また、来賓あいさつでは、九州地方整備局の垣下禎裕局長、および福岡県の生嶋亮介副知事があいさつ。共に近年、激甚化・頻発化する自然災害の状況と国土強靱化の必要性などに言及した上で、円滑な事業執行や地域の安全安心に対する引き続きの協力等を要請した。